

平成27年度 第2回 地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会 会議要録

日 時：平成27年7月13日（月） 15：00～17：00

場 所：保健・福祉センター 3階大会議室

出席者：松岡淳一委員長、河野順子副委員長、石島政己委員、落合智治委員、星法子委員、

欠席者：佐田尚宏委員

【小山市】

大久保寿夫市長、宮嶋誠副市長、黒川光政財政改革課長

【新小山市市民病院】

小川純子副院長、山中忠男事務部長、阿部行博経理課長

【事務局（保健福祉部健康増進課地域医療推進室）】

栗原千早保健福祉部長、大保寺和子健康増進課長、石川和男地域医療推進室長、大橋雅子地域医療推進係長、鈴木由佳主事

会議経過：

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 市長あいさつ
4. 議事

発言者	内 容
委員長	それでは、議事の4に入りたいと思います。 （1）第1回評価委員会資料の承認について事務局より説明をお願いします。
新市民病院	（1）平成26年度財務諸表等及び（2）平成26年度事業報告書の修正箇所の説明、並びに追加質問への回答（資料参照）
委員長	ただいまの修正資料の説明に関して、委員の皆様からご質問等ありますでしょうか。
委員	糖尿病の件について、同じということで去年の件数が555件となっております。増加の件数の表記が違うように思いますが。
新市民病院	確認させていただきます。
委員長	他になにかありますか。特に財務諸表等については、評価委員会として意見書を市長へ提出することになっておりますので、この資料でよろしいか皆様に確認していただきたいのですが。
委員長	訂正を含めた上で、財務諸表等承認してよろしいでしょうか。 それでは、財務諸表等として承認したいと思います。 次に（2）平成26事業年度に係る業務実績に関する評価について事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料2】の評価方法の説明
委員長	皆様のご意見を伺い評価を決定していきたいと思えます。 「（1）急性期病院としての機能の充実」ですが、私だけ4をつけていますが、去年の病院のことを知っていますので、良くなっているということでつけました。他の委員さんが3をつけていますので、同調したいと思います。 コメント欄で、各委員の意見が入っておりますので、伺いたいと思えます。
副委員長	院内でのクリニカルパス数は。

新市民病院	院内でのクリニカルパスの数が現在96件ほど、バリエーションについては評価に至っておりません。
委員	年度計画に記載があったので他病院との比較を実際されているのかお伺いします。
新市民病院	DPC移行になっていますので、他病院との手術の内容など比較しています。
委員長	それではこの項目につきましては、3ということによろしいでしょうか。次に「(2) 救急医療の取組み」についてお願いします。
副委員長	計画通りで順調ということでコメントに書きました。
委員長	二次救急をやってもらって非常に我々助けられているというのがありますので評価を4にしました。しかし、皆さんのご意見に従いたいと思っておりますので3でよろしいですか。 次に「(3) 4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)への対応」、法人評価は3ですが、ご意見をお願いします。
副委員長	糖尿病の医師を確保できて、結構画期的に企画されていると思います。ここまで来るのに大変であったと思い4にしました。
委員	こちらの計画に対する実施がどうなっているのか。
新市民病院	脳卒中のSCUの内容になりますが、24時間365日医師がいなければならないという状況で、神経内科及び脳外科の医師によりSCUで取得ができるというものですが、実際県内ではSCUできるところがない。新病院では運営できるような内容で進めています。
委員	乳がんの手術が22件、昨年に比べ28件減少したということで、理由が専門医の退職によるものということですが、その後専門医はどのようになっているのか教えてください。
新市民病院	常勤の専門医が海外へ赴任し、その後見つかっていない状況です。手術については外科の先生などをお願いをしているところです。
委員長	2と4が1つずつあり、平均的に3ということによろしいでしょうか。次に、「(4) 小児・周産期医療の充実」、これは以前から念願としているところですが、ご意見どうぞ。
副委員長	小児における医療の充実というところは努力されているのですが、産婦人科の未整備、医師がすぐに赴任されることは難しいと分かっているのですが、小山の人口や若者のことを考えたらどうしても思いましたので、4をつけたいところですが、あえて3をつけました。
委員長	私は3をつけましたが、現実にこの医療圏の中だけでは人材が足りていない。昨年度この件に関して自治医大病院長と婦人科・産婦人科教授を含めて話し合いを持ちました。しかし、なかなか自治医大としても出せる人数が決まっているということです。
委員	やはり社会的な産科医不足ということで、努力されているのは分かっているのですが、あえて2ということにしました。
委員長	結果として、小児のほうが充実してきたということを考えて3なのかなと思います。残念ながら、産科・婦人科が弱いということは確かだと思います。 次に「(5) 災害時等における対応」ですが、これは法人、委員ともに3がついています。DMATは確かに副委員長の言うとおりの未整備なのですが、計画としてはDMATをやるとされていますので、3でよろしいのではと思います。 「(6) 健診機能の充実」ですが、これに関してはいかがでしょうか。

副委員長	25年度くらいには、こういうことが考えられていなかったと思うと、とても画期的だと思います。26年度は病院一丸となって頑張っているという姿に見えます。
委員	同様に、人間ドックについて計画を大幅に上回っていると、非常に頑張っていると評価できると考えております。
委員	人間ドックについては非常に頑張っていると思います。ただ、他の企業健診、一般健診、特定・生活機能健診については、計画値には届かなかったということがありますので、わたしはあえて3にしましたけれども、人間ドックについては私の職場にもご案内がきて非常に積極的に取り組んでいるということがあり4でよろしいかと思います。
委員長	それでは、委員会評価としては4ということよろしいでしょうか。 次に「(7) 保健・介護・福祉との連携」ですが、これはまさにこれから問われていくところですが、いかがなものでしょうか。
副委員長	院長はじめ皆さん、色々な資格を持った方が外に出て講演をしているというようなことで、とても努力しているというのが見えたのでこのように評価しました。
委員	年度計画には具体的な事項には書かれていませんが、積極的に取組まれているということで4をつけました。
委員長	さて、意見が分かれましたがいかがなものでしょうか。努力されていることはよく分かるのですが、現実的にまだ連携が完璧ではないということと3にしたのですが、現実をみて3ということよろしいでしょうか。 次に「(1) 優秀な医療スタッフの確保」ということですが、法人評価は3ですけどもいかがでしょうか。
副委員長	医師6名の増員ということは非常に努力をされたと思います、自治医大のウリでもある総合診療科ですが、これは市民にとってはいい診療科だと思います。ただまだ不足はしているので3ということにしました。
委員	採用を頑張られているということは分かるのですが、やはり計画に対して若干まだ足りていないということですので、引き続き頑張ってもらいたいと思います。
委員長	ここも4と2がありますが、委員の想いは同じだと思います。あいだをとって3ということはいかがでしょう。 次、「(2) 医療職等の専門性・医療技術の向上」、これは判断するのが難しいのですが、いかがでしょうか。
副委員長	私の立場としては、産科がいつ来ても大丈夫なようにということで、助産師が助産業務をしていませんので、その技術を忘れないように出向して学んでいるという姿勢がありましたし、栃木県看護協会の依頼でもあったので、いい成績をあげたいと思います。
委員	計画に対して30%以上実績が伴っていないとなると、ちょっと厳しいのかなと思います2にしました。
委員長	私は副委員長と同じように、認定看護師への取組みが評価できると思います。
委員	専門性を高めるという項目ですので、計画に対して伴っていないということで2をつけました。
委員長	これは票が割れてしまっているのですが、平均値を出すということになりますか。事務局平均値はいかがですか。

新市民病院	これについて説明よろしいでしょうか。自治からの派遣ドクターが、専門医を持っている方を自主的に取って増やしていくということができないものですから、その部分が数字で出ております。ご理解いただければと思います。
委員長	私も同じ意見で、専門医になる前の先生がきてしまうという傾向が強いと思います。平均値はいくつになりますか。
事務局	3です。
委員長	では、3ということですね。よろしいですか。 次に「(1) 患者中心の医療」が行われているかどうか。いかがですか。
副委員長	NSTの相談件数や患者相談窓口で内容がどんなものが多いのか、インフォームドコンセントの中でセカンドオピニオンの件数が知りたいです。
新市民病院	薬剤師の病棟服薬指導については持参薬の継続指導も含めて年間1,050件、栄養管理指導は年間425件です。患者の窓口の相談件数が年間2,025件。その内容の詳細については多岐にわたっているのですが、多くは診療科の相談、介護の相談、かかりつけ医の相談が占めております。セカンドオピニオンについては0件でした。
委員長	評価としては皆さん3ということなので、3でよろしいかなと思います。 次に「(2) 利便性及び快適性の向上」。いかがですか。
副委員長	多くの病院が会計でのカードの導入というのをやられているのかもしれませんが、こちらでも積極的にされており利便性の向上が図られていると思います。
委員長	他にご意見ありますか。 快適性というのは満足度と重なってくるのですが、これは3ということになりますね。 次に「(3) 患者満足度の向上」です。
副委員長	外来と病棟と満足度調査を実施していて、評価は高いのですが入院患者の50%の回答率というのは否定的で提出できないのか、何故回答率が低いのかということが疑問です。入院中に回答するものでしたか？【「入院中に」と事務局】これは一旦帰っていただいて封筒で無記名で提出できるということだったら少し違うのかなと思います。
委員長	退院時にするのですか。
新市民病院	これにつきましては、サービス向上委員会で毎月話題になっています。50%をなかなかこえないという理由は、平均在院日数が短い患者や、転院する患者にはアンケートをとっていないことがあります。提出の方法も、患者の家族の方に提出を任せており、ナースステーションの前に設置した箱に入れてもらっていますがその方法では率が上がらないということで、退院時に必ず声かけをするということを実施し、6月は55.7%にあげました。先ほどお話のあった郵送ということも含めて、計画の見直しをしていきたいと思えます。
副委員長	退院時ということだと、誰が退院というのが分かるのでそのへんも難しいと思います。
委員	満足とほぼ満足の割合が89.3%ということですが、計画では満足の割合が60%以上に対して、実績が満足42.0%で計画より低いと思えましたのでこの評価にしました。できれば満足の数字を増やしていただきたいと思えました。しかし、評価としては皆さんと合わせたいと思えます。 計画との差のところですが、表記の仕方として「%」ではなく、この場合「ポイント」になるのかなと思えましたので、よろしくをお願いします。

委員長	患者の申告数をもう少しあげてほしいと思います。3ということによろしいでしょうか。
新市民病院	満足できないという理由の中に、施設が古いことがあり%が上がらないというのがあるのかなど。新病院になればその面は解消できるかと思いますが、そういったご意見が多かったということです。
委員長	次に「(4) 職員の接遇向上」、いかがですか。
副委員長	研修参加人数が減ったことが気になります。接遇の目標設定も具体的ですし、あいさつ運動を全員でやっているわりには関心度、研修参加人数が気になりました。しかし、全職員がここに関わっているということは評価できると思いました。
委員長	接遇は、たいぶ向上し順調に進んでいるということで3でよろしいかと思います。 次、「(5) ボランティア制度の活用」に関してはいかがですか。
副委員長	ボランティアに参加する方は減っていますが、興味本位で増えるということがいいことでは決してなくて「ボランティアの質」ということもあるので妥当だと思います。患者さんと接するとき色々なことに配慮されているというのは評価できると思います。
委員	ボランティアなので、計画を上回るもしくは計画通りの登録というのが難しいというのは承知していますが、一応計画値があるのでなるべくそれに近づけるよう確保に努めていただきたいと思います。
委員	病院のボランティアの業務内容について伺いたい。
新市民病院	ボランティアに関しては、玄関周辺で来院者の車の乗り降りの介助や玄関での挨拶及び案内ということがメインです。現在ボランティアのあり方を検討しています。
委員	病棟のボランティアということも考えられるのですか。
新市民病院	そうですね、主に小児病棟でというのは検討していきます。
委員長	それでは、平均的にということで3でよろしいでしょうか。 「(1) 地域医療機関との連携」、私だけが2をつけているのですが、これは5をつけたいところです。しかしこのような状況が数例でもあると、病院の評判は落ちてしまう。紹介した医師と市民病院とで疑義が生じた場合は、初診医ときちんと話し合わなければならないと思います。評価というよりはどちらかという希望のコメントです。紹介・逆紹介の率だけではなくて、医療の質もみていただきたいなと思います。本当は5と評価したいが、一応2というのは皆さんに真実を知ってほしいということでこの例を挙げました。私は4に訂正したいと思います。それでは、紹介率・逆紹介率も上がってきていますので、ここは4ということによろしいでしょうか。 次、「(2) 地域医療への貢献」、いかがでしょうか。
副委員長	非常に積極的に地域関係機関と良好な関係であるかと思いますが、やはり「市民病院」という名前を持っているからには、先ほどのような事例があるというようなことは確認しておかなければならないと思います。
委員	計画より大幅に実績が上回っており、積極的に活動していると考え評価を5としました。
委員長	皆さんの評価が4ということでいかがでしょうか。
委員	4でよいです。
委員長	では、評価を4とします。

	次に、「(3) 積極的な情報発信」をしているかどうか。
副委員長	だいぶ情報発信していると思うのですが、それで何故3という評価か知りたい。
新市民病院	病院長がこの程度ではだめだと、内容等も含めてホームページの充実を図らなければということで3になりました。
委員長	新市民病院の情報誌などは、毎月質が上がっているような気がしています。
委員	市の広報に市民病院の情報が載っていて、それだけでも市民病院のことがよく分かるので、4という評価にしました。
委員長	平均値はいくつになりますか。
事務局	3.5です。
委員長	3.5は計算上4ですね。では、4ということで。以前の市民病院に比べたらまるっきり違うと思う。 次に「5信頼性の確保」これは非常に大切なところです。まず「(1) 医療安全対策等の徹底」からなされているかどうか。
副委員長	クレーム対策で『長期にわたり解決できないと予想される場合は、速やかに顧問弁護士と相談し対応しました。』とあります。アクシデント・インシデントも届出がうまくいっています。評価したいのは院内感染です。建物が古いと院内感染が増えるというのは関係すると思うのですが、全国的に院内感染が少ないのは感染看護がうまくいっているということ。認定看護師の努力があるからだと思いました。
委員長	私もまったく同意見です。3.5ということですね。感染率が低いということは病院として評価できる。4という評価をつけたいと思いますがいかがですか。では4としたいと思います。 次も重要なことです、「(2) 外部評価の活用」が図られているかどうか。
副委員長	今回、日本医療機能評価機構の受審をしたということですが、もう認定はきましたか？
新市民病院	まだです。
副委員長	数年前まではとても敷居が高かったと思いますが、受審できるまでになったというのはとても評価できます。次年度はワーク・ライフ・バランス推進事業に参加してください。
新市民病院	予定をしておきます。
委員長	評価の結果はいつ頃ですか。
新市民病院	7月下旬です。
委員長	評価機構に自信を持って出されたのでしょうか、評価は3でよろしいかと思えます。 次に「(3) 法令・行動規範の遵守」。これは委員の皆様3ということで、いかがですか。
副委員長	とても良いと思いますが、倫理委員会の回数とその検討内容はどのようなものだったのですか。
新市民病院	倫理委員会は、平成26年度は8回の開催をしています。うち、文書のみで開催が5件、実際委員が集まったのは3件です。基本的には臨床分野の研究に対するものがメインでした。
委員長	手術の内容によって倫理委員会が開かれる回数に増減がある。自己評価を3とつけている。皆さんも3ということなので、評価3でよろしいでしょうか。

	次に「(4) 情報の開示」がされているかどうか。
副委員長	27件の開示内容は。
新市民病院	27件の内訳は、主に交通事故によるもので、裁判で必要というのが7件、裁判所のほうから交通事故によるカルテを出してというのが4件、あと多いのが医療費の請求で保険会社に提出するもので6件、労災関係の提出が2件です。
委員長	市民からの情報公開請求はありましたか。
新市民病院	自分の病気の確認で1件だけです。
委員長	情報公開請求のほとんどは交通事故によるものが多いのは確か。情報開示は適切に行われているということで、3でよろしいでしょうか。
委員長	第2「(1) 組織と運営管理体制の確立」では、運営管理体制を確立しているということで、3ということでよろしいでしょうか。 次に、「(2) 事務経営部門の強化」。
副委員長	委託業務の縮小、経験者の職員採用、情報管理士、医師事務作業の補助者の採用ということで、積極的に採算を考えているということでよいと思います。情報管理士は何名いるのですか。
新市民病院	5名です。
委員長	控えめな法人評価だと思いますが、3ということで皆さんよろしいですか。 次に「(3) 事務経営部門職員の計画的採用」、いかがですか。
副委員長	小山市からの派遣職員の帰任計画などを立てた上での事務部門の確立というのがここから見えて評価できると思います。
委員長	皆さん3ということで、よろしいですか。 次に「(1) 意欲を引き出す人事給与制度の構築」です。
副委員長	人事評価は非常に難しいと思います。法人の自己評価でも、医師を含めるか否かということがありますし、それ以外の職員の場合には評価者の研修というのが大変だと思いますので継続してやられるということなので3としました。 評価基準というのは、目標管理などを使っていますか。
新市民病院	26年度に開始をしましたが、導入の部分であり慣れるまで細かい区分がありません。27年度から目標管理を含めた形でやりたいと思っています。
委員長	ちなみに、新小山市市民病院には組合は存在しますか。
新市民病院	はい、存在します。
委員長	そうすると、組合との春闘などもあるわけですね。
新市民病院	春闘までは。要求などはあり、回答などしています。
委員長	組合員の方も評価制度に対して、よろしいと言っていますか。
新市民病院	それは問題なく。
委員長	では、評価は3ということでよろしいでしょうか。 次に「(2) 職員満足度の向上」。
副委員長	年度計画通りにいっているのでしょうか。ワーク・ライフ・バランスのインデックス調査というものと、全く上司の目に触れないで直接個人の思いがデータに出ます。次年度それをやっていただけたときと見えてくると思います。日本医療機能評価機構の場合には、病院全体でやろうとしていますし、新小山市市民病院でやるとなると、職員満足度を何で測るかということになると思います。
委員長	アンケート調査をしているのですか。
新市民病院	61項目のアンケートを行い、370名余りに回答いただきました。現状の評価によりますと、「職員奮闘型」の組織でした。職員は努力をしているのですが、

	満足度が少し足りないという結果でした。
委員長	これについては、3ということではよろしいでしょうか。 次に、「(3) 働きやすい職場環境の整備」。 これについては、順調に進めていってほしいということで、3でよろしいでしょうか。 次に、「第3財務内容に関する事項(1) 経営基盤の強化」についてです。
副委員長	稼働率低下の危機感ということでは評価できると思います。
委員	病院で黒字を維持するということが難しいところですが、黒字が続いているということで評価させていただきました。
委員長	日本医師会の試算でも、診療報酬が上がったような表現をされていますが、実際にはマイナス改定だった。その中でよく工夫をして順調にきているなど思っております。3という評価でいかがでしょうか。 次に、「2収益の確保と費用の節減(2) 費用の節減」です。
委員	(1)については記載のとおりです。計画に対する実績については不十分な面もあるかなと思いましたが3としました。
委員長	では皆さん3でよいですね。 次に、「(2) 費用の削減」について。
委員	こちらの判断理由については、去年もそうであったのですが、計画での比率と実績を計算したときの比率について、同一の尺度になっていないというところがあり問題。評価の根拠についてはコメントのとおりです。
委員長	ではこちらは、3ということではよろしいでしょうか。 次に、「4新病院建設に向けた取組み」。建設費の高騰に対してはよく頑張っているということで、3をつけました。
委員	現時点での契約変更が調整中というのが疑問。デザインビルドという方式だからでしょうか。
新市民病院	契約約款に基づいたものと少し違っており、かなり大きな金額で請求がきますので、それについて話し合いをしているところです。
委員	設計変更もあるわけですね。
新市民病院	そうです。
委員長	それでは、この項目については3ということにしたいと思います。 次に「(6) 短期借入金の限度額について」、いかがですか。
委員	これは、実績を記載していただくということになっていくと思います。
委員長	最後に、委員の皆様よりなにか追加のご意見がありましたらお願いします。
副委員長	評価表2ページのクリニカルパス実施件数ですが、主に何のものですか。
新市民病院	当院でのクリニカルパスは、大腿骨頸部骨折と脳卒中になります。
新市民病院	脳卒中が54件で、大腿骨が53件です。
委員長	そのほかにご意見いかがですか。
副委員長	医療機関情報カードとは何ですか。
新市民病院	各クリニックの医師の名前、住所、どういう特徴があるかなどをA4の用紙に記載し、病院から送っていただいて、それを医療相談窓口の廊下に貼り出しています。患者がそれを見て受診するところを探して持っていけるというカードになっています。
委員長	各医療機関が自主的に提出をしたものです。 そのほかいかがですか。副市長ご意見いかがですか。

副市長	経営基盤ということで、職員の基礎年金を実際に支払っているのは自治体なのです。ですので、人件費に関しての給与だけで見ると、事業主体が払っているのではなくて設立団体の市が払っている。医業収益対で見るとかなり上がってしまうのではないかと思います、そういった部分も含めて経営を進めていってほしいと思います。
委員	地域医療の連携の強化ですが、地域医療圏はどのエリアですか。
新市民病院	当院で連携をとっているのは、野木町から石橋までで結城も入れています。地域近郊連絡協議会というのを3ヶ月に1回開いています。
委員長	他にはありませんか。 それでは、本日の協議事項は終わりいたします。ありがとうございました。

以上